

---

---

# スマートスクール実現モデル校 実践発表会

— 一人ひとりが輝く学校 —  
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

---

---

令和5年11月2日  
大阪狭山市立東小学校 スマスクW.G

# よろしくお願ひします

13:20~13:50 全体会

14:00~ 授業参観 スマスクW.Gの教室(他の学年の授業も参観いただけます)

2年5組 生活科「もっとしりたい たんけんたい」

3年5組 国語「自分の考えを伝えよう」

6年2組 総合的な学習の時間「東SDGsプロジェクト」

15:05~ ご講演(大阪大学大学院 西森年寿教授)

16:00~ 分科会

低学年 3年1組(2年5組の授業について)

中学年 3年5組(3年5組の授業について)

高学年 3年3組(6年2組の授業について)



# 大阪狭山市立東小学校

## 学校教育目標

一人ひとりが輝く学校

## 学級編成

1～4年生 5クラス

5・6年生 4クラス 計 約920名

(支援学級4クラスを含む)



# スマスクと校内研究の関わり

## 児童の実態把握

- ・学調結果、全国の平均より上
- ・記述問題に弱い(情報不足、文末表現)
- ・学力の二極化

タブレットを活用した授業が好き...9割以上

## 校内研究のねらい(つけたい力)

- ・主体的な学び(自律的に探究する態度)
- ・自分に合った方法で学ぶ(自己調整力)  
→タブレット、図書、インタビューなど

自律的に探究する態度の育成

## スマートスクール実現モデル校

- ・デジタルシティズンシップに則った  
ルールづくり
- ・ICT機器を活用した授業づくり

ICT機器を活用して学力向上

# 校内研究

**研究テーマ 「自分に合った方法で学ぼう～問い続け、共に学ぶ～」**

→ 自律的に探究する態度の育成

(学習内容だけでなく) 学習方法を意識させる

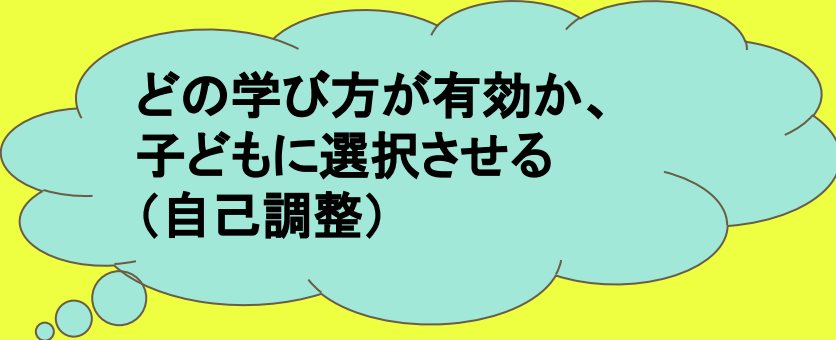
**学び方を教える**

**学習形態**

個人・ペア・グループなど

**学習方法**

インターネット、図書、インタビューなど



どの学び方が有効か、  
子どもに選択させる  
(自己調整)

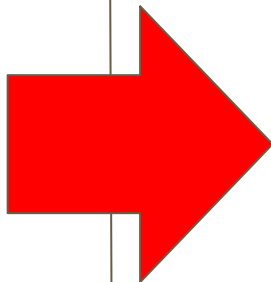
# タブレット活用で気を付けるところ



書く力の低下

考える時間の減少

楽だから好き



じっくり考える時間  
の確保

情報が

よくわかるから好き

伝わるから好き

情報収集  
情報整理



# たくさん取り入れているクラスほど、、、

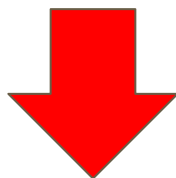


活動の切り替えに時間がかかる



授業に関係ないことをしている

たくさん取り入れて



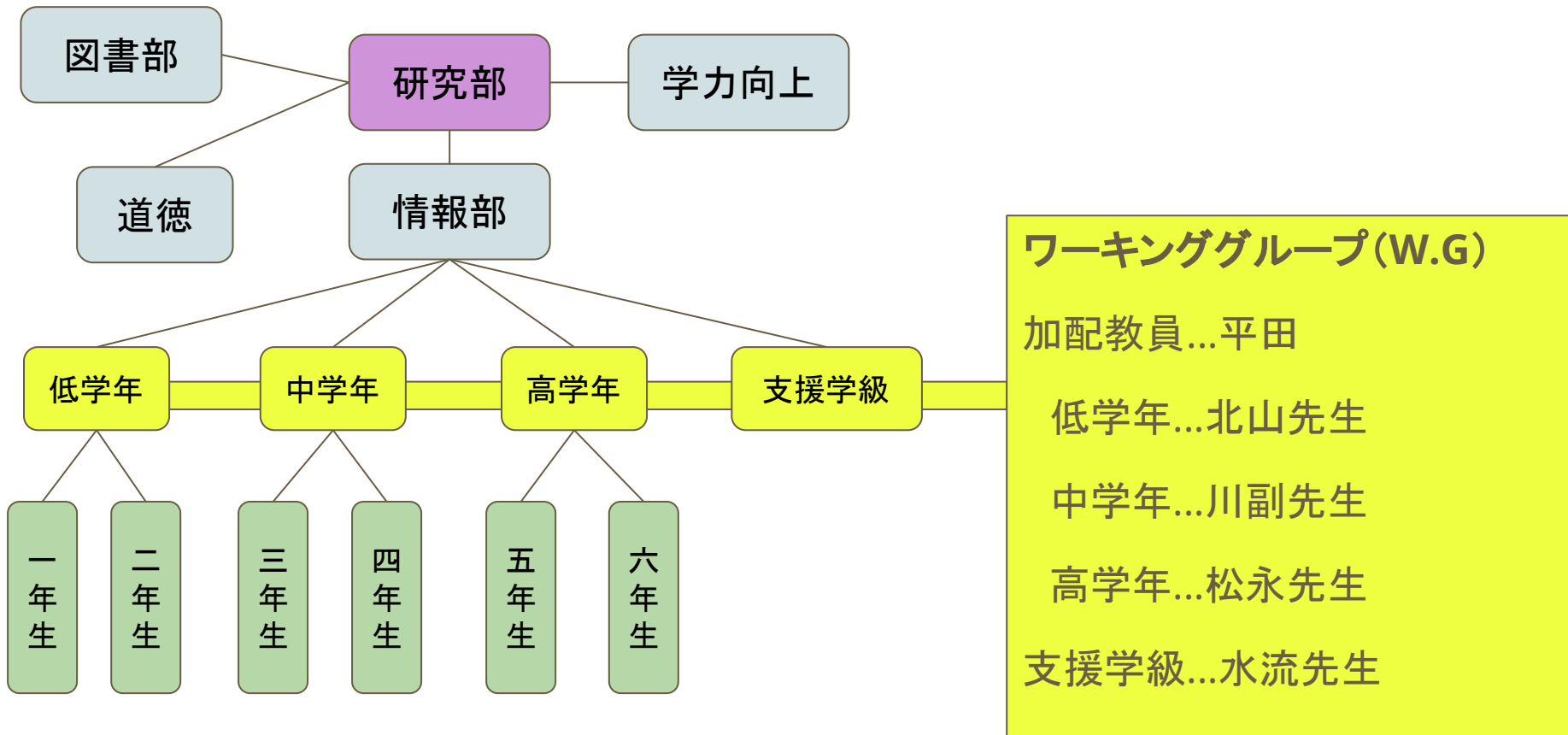
物珍しさをなくす

身近にあって  
当たり前の

文房具に



# スマートスクール実現モデル校(W.Gを配置)





# W.Gでの検討事項

## 実態に基づいた 課題設定の検討

- ・基本操作
- ・ルール作り
- ・宿題
- ・夏休み課題
- ・子ども同士の  
教えあい企画

## 実践事例や 困りごとの共有

- ・授業案(したいこと)
- ・実践共有(ドライブ)
- ・MEET朝礼
- ・当番
- ・係活動
- ・Wi-Fi環境

## 業務改善

- ・会議資料
- ・職朝記録
- ・情報共有の  
デジタル化
- ・リアルタイムで  
の協働作業

# スマスクで東小学校がめざすところ

## 「1人の百歩より、100人の一歩」

(文部科学省有識者インタビューより永守重信さんの言葉)

東小学校に1人1台タブレットが導入されてから3年。今年度で4年目に突入しました。スマスクモデル校を受ける前から、松永先生と川副先生が中心になってICT機器を活用した授業づくりを進めて下さっています。この先生方の取組みはICT機器が苦手な先生方にとってみれば、百歩先に見えているかもしれません。ですが、得意な先生が在籍していることは間違いなく強みです。先生たち全員が子どもたち主体で、対話的な授業づくりができるようにスマスクWGで提案、サポートさせていただきます。全員で一歩を踏み出しましょう。

# ICT機器を使う必然性

## 令和の日本型学校教育

- ・個別最適な学びと協働的な学び(学習指導要領 総則 第4則 教育課程の実施と学習評価)  
主体的・対話的で深い学び(学習指導要領 総則 第3則 児童の発達と支援)
- ・探究的な学び(総合的な学習の時間)

2025年度デジタル教科書普及率100%

国

すくすくウォッチや学力調査の結果に基づいた学力向上  
・スクールエンパワメント推進事業

府

校内研究と同じ方向

東 小  
・自分に合った方法で学ぼう～問い続け、共に学ぼう～  
→ICT機器を効果的に活用した授業づくり

共通理解

# はじめの一步(まだまだ不慣れな先生へ)

## ・単元計画にタブレットを組み込もう

△いきなりできるのは達人だけです。

パターン化＝定着 です。単発ものではなく計画的に。

## ・45分授業の中で15分程度

△いきなり30分以上取り入れられるのは達人だけです。

タブレットをうまく利用して、効果的な学びをめざしましょう。

## ・規律があつてのICT

△「タブレットで遊んでいます。」「授業が進みません。」では本末転倒です。

91%が前向きです。みんなで前向きを続けられるルール作りをお願いします。



# デジタルシティズンシップに則ったルール作り

情報モラルールの作成(6年生 総合的な学習の時間 全3時間)

- 1.効果的な活用について考えて、ジャムボードに出し合う
- 2.班ごとに「授業(個人)」「授業(みんな)」「休み時間」「家庭」に分ける。
- 3.«正しく」「うまく」を意識したポスターを作る



最後に、、、

# 今日見ていただくのは、

スマスク公開授業

一人ひとりが輝く学校  
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～



どの子も安心し、  
楽しく学べる居場所づくり

一人ひとりの子どもに寄り添い、  
ていねいな支援と対応

# ご清聴ありがとうございました。

この後の予定

**14:00～ 授業参観 スマスクW.Gの教室(他の学年の授業も参観いただけます)**

2年5組 生活科「もっとしりたい たんけんたい」

3年5組 国語「自分の考えを伝えよう」

6年2組 総合的な学習の時間「東SDGsプロジェクト」

**15:05～ ご講演(大阪大学大学院 西森年寿教授)**

**16:00～ 分科会**

低学年 3年1組(2年5組の授業について)

中学年 3年5組(3年5組の授業について)

高学年 3年3組(6年2組の授業について)

